

年間授業計画 新様式

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 9 組

教科担当者： （1組：田中）（2組：田中）（3組：三好）（4組：田中）（5組：田中）（6組：田中）（7組：田中）（8組：田中）（9組）

使用教科書：（実教出版 公共）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目	公共	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 社会を作る私たち 【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 ・伝説や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きているのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多面的・多角的に考察し、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。	○指導事項 ・人生における青年期の意義を理解する。 ・青年期の特徴を理解する。 ・青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。 ・青年期の発達課題を理解する。 ・日本人の伝統的な自然観や倫理観の特徴について理解する。 ○教材 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きているのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	5
	第2章 人間としてよく生きる 【知識及び技能】 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きているのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多面的・多角的に考察し、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。	○指導事項 ・理想的な人間の生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの主張を理解する。 ・近代ヨーロッパで生まれた、科学的思考を理解する。 ・社会参画や公共性の確立について思索した思想家たちの主張を理解する。 ○教材 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。また、人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	第3章 他者とともに生きる 【知識及び技能】 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○指導事項 ・功利主義の考え方を理解する。 ・社会の公正なあり方について思索したロールズとセンの主張を理解する。 ・リベタリアニズムやコミュニタリアニズムの主張を理解する。 ○教材 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きるいく上重要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	5
	第4章 民主社会の倫理 【知識及び技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に築くことが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○指導事項 ・人間の尊厳と平等といった原理の背景にある考え方を理解する。 ・差別や偏見を是正するための取り組みやその背景にある考え方を理解する。 ・自由・権利と責任・義務の関係を理解する。 ・自由・権利と責任・義務の関係が時代世代の問題としても考えられることを理解する。 ○教材 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に築くことが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2 学 期	前5章 民主国家における基本原理	【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公的な空間を作る上で必要であることについて理解できる。 ・個人の尊厳、民主主義、法の支配など、公的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	○	5	
	第1章 日本国憲法の基本的性格	【知識・技能】 ・法の規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【指導事項】 ・日本国憲法の成立の経緯について理解する。 ・日本国憲法の基本原則について理解する。 ・自他権・平等権、社会権・新しい人権について理解する。 ・公権の福祉について理解する。 ・日本の安全保障政策の展開とこれにちの安全保障政策の課題について理解する。 【教材】 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・法の規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立的な主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法の規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事例や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1	
	第2章 日本、政治機構と政治参加	【知識・技能】 ・憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【指導事項】 ・国の役割や機能、内閣の権限と議院内閣制、司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。 ・金融の役割と社会的責任について理解する。 ・金融を通じた経済活動の活性化について理解する。 ・様々な金融商品を活用した資産運用に伴うリスクとターンなどについて理解する。 ・農産物の生産と流通の仕組みについて理解する。 【教材】 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立的な主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
3 学 期	第1章 現代の経済社会	【知識・技能】 ・憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【指導事項】 ・憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解する。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立的な主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【知識・技能】 ・憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立的な主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1	
	第2章 日本経済の特質と国民生活	【知識・技能】 ・憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【指導事項】 ・歴史的な事実が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考える。 ・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考察する。 ・社会との関わりに着目して、これからの中小企業の変革を考察する。 ・農産物の生産と流通の仕組みについて考える。 ・典型的な消費財とサービスの取引と、その対応策を考察する。 ・日本の雇用形態の変化や、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 ・少子高齢化が進む中で、財源と対象を検討する。 【教材】 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化などに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立的な主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	第3章 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【知識・技能】 ・憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【指導事項】 ・社会的な見方・考え方を総合的に勘案し、現実社会の諸課題を探究する。 【教材】 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・それらが選択した現実社会の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・それらが選択した現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・それらが選択した現実社会の諸課題について、問いを見出し、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、それらが選択した現実社会の諸課題に対する多面的・多角的な考察や深い理解を通じて主体的に解決しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1	
	第4章 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【知識・技能】 ・憲法と政治機構、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法下、権利や自由の保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・自立的な主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参加を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【指導事項】 ・社会的な見方・考え方を総合的に勘案し、現実社会の諸課題を探究する。 【教材】 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・それらが選択した現実社会の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・それらが選択した現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・それらが選択した現実社会の諸課題について、問いを見出し、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、それらが選択した現実社会の諸課題に対する多面的・多角的な考察や深い理解を通じて主体的に解決しようとしている。	○	○	○	3
							合計	
							70	